

(表1)就労支援事業別事業活動明細書

- 就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 サラメシ本舗

自 令和5年3月1日 至 令和6年2月29日

(金額単位:円)

勘定科目		合計	弁当販売	
収益	就労支援事業収益	39,062,332	39,062,332	
		0		
	就労支援事業活動収益 計	39,062,332	39,062,332	0
費用	就労支援事業費	38,990,335		0
	期首製品(商品)棚卸高	0		
	当期就労支援事業製造原価	38,990,335	38,990,335	0
	当期就労支援事業仕入高	0		
		0		
	合計	38,990,335	38,990,335	0
	期末製品(商品)棚卸高	0		
	差引	38,990,335	38,990,335	0
	0			
	就労支援事業活動費用 計	38,990,335	38,990,335	0
	就労支援事業活動増減差額	71,997	71,997	0

※ 「自」「至」は、直近の会計年度を記載

※ 多種少額の生産活動を行う等の理由により、作業種別毎に区分することが困難な場合は、作業種別毎の区分を省略しても可

※ 製品(商品)を仕入れて販売しない(製品等の棚卸管理を行わない)事業所については、期首・期末棚卸高、仕入高への計上は不要

(表4)就労支援事業明細書

- ☑ 就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 サラメシ本舗

自 令和5年3月1日

至 令和6年2月29日

(金額単位:円)

勘定科目	合計	弁当販売	
I 材料費			
1. 期首材料棚卸高	377,834	377,834	
2. 当期材料仕入高	21,883,771	21,883,771	
計	22,261,605	22,261,605	0
3. 期末材料棚卸高	386,359	386,359	
当期材料費	21,875,246	21,875,246	0
II 労務費			
1. 利用者賃金	11,793,487	11,793,487	
2. 利用者工賃	0	0	
3. 就労支援事業指導員等給与 ※	0	0	
4. 就労支援事業指導員等賞与引当金繰入 ※	0	0	
5. 就労支援事業指導員等退職給付費用 ※	0	0	
6. 法定福利費	651,890	651,890	
当期労務費	12,445,377	12,445,377	0
III 外注加工費	0		
(うち内部外注加工費)	0		
当期外注加工費	0	0	0
IV 経費			
1. 福利厚生費	0		
2. 旅費交通費	193,757	193,757	
3. 広告宣伝費	250,000	250,000	
4. 消耗品費	1,072,372	1,072,372	
5. 印刷製本費	0		
6. 水道光熱費	322,882	322,882	
7. 車両費	262,769	262,769	
8. 修繕費	26,471	26,471	
9. 通信運搬費	41,515	41,515	
10. 支払利息	32,360	32,360	
11. 会議費	0	0	
12. 衛生管理費	135,372	135,372	
13. 賃貸料	1,437,849	1,437,849	
14. 図書・教育費	1,820	1,820	
15. 租税公課	31,302	31,302	
16. 支払報酬料	732,587	732,587	
17. 雑費	128,657	128,657	
当期経費	4,669,712	4,669,712	0
当期就労支援総事業費	38,990,335	38,990,335	0
期首仕掛品棚卸高	0		
合計	38,990,335	38,990,335	0
期末仕掛品棚卸高	0		
就労支援事業費	38,990,335	38,990,335	0

※ 「自」「至」は、直近の会計年度を記載

※ 「就労支援事業指導員等」は、指定基準を超えて専ら就労支援事業に従事するものとして雇用している従業員で、公費(訓練等給付費)で評価されている職員は、「福祉事業会計」で処理する。

※ 必要に応じて、勘定科目を追加のこと